

事務事業評価表

○基礎情報

課名		施設再編整備課	作成責任者
施策目標	63	公共施設の再編整備と適正な維持管理を進める	鈴木 嘉朋

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
3 人	4 人	0 人	0 人	0 人	7.00 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1,074 時間	22.4 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
公共施設の再整備完了件数(累計)	5件	10件	—	—	9件
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	戦略的かつ経営的視点に立った公共施設の再編整備
2	資産の有効活用
3	公共施設の適切な維持管理と長寿命化
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	本庁舎跡地周辺整備事業	1	1.69	一般	24,972,000 9,110,880	13,336,000 13,320,780	市役所仮設庁舎跡地活用事業は事業用定期借地とし、公募型プロポーザル方式により、貸付事業者を決定した。旧本庁舎跡地整備工事において、4件の入札により、それぞれ契約を締結し、工事に着手した。	工事・事業の進捗	旧本庁舎跡地整備工事	仮設庁舎跡地活用事業者決定工事着手	S	-		
2	本庁舎跡地周辺整備事業(道路事業)	1	0.23	一般	2,764,000 2,763,520	85,046,000 78,865,920	市道5563号線に右折車線及び歩道を設置したことにより、県道45号線への自動車交通が円滑化した。	工事・事業の進捗	旧本庁舎跡地整備工事	右折車線及び歩道設置完了	S	-		
合計					H30予算(円) H30決算(円)		98,382,000 92,186,700							

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>施設再編整備課の平成30年度の事務事業数は11事業あり、うち政策的事業は2事業である。施策指標と実績は予定通りに進捗し、政策的事業の評価結果は「S」が2事業となっており、いずれも成果を出すことができた。</p> <p>施策指標と実績について、公共施設の再整備完了件数の累計は、茅ヶ崎公園体験学習センターとして福祉会館及び海岸青少年会館の整備、小出支所耐震改修工事、市民文化会館の耐震補強及び改修工事の完了により、再整備が新たに計4件完了した。</p> <p>政策的事業の実績について、本庁舎跡地周辺整備事業の茅ヶ崎市役所仮設庁舎跡地活用事業は、プロポーザルによる事業者選定を行い、優先交渉権者が決定した。旧本庁舎跡地整備工事は、建築工事について12月議会で承認を受け契約し、歩廊等設置工事を2月、機械設備工事及び電気設備工事は3月に締結し、当初の計画通りに工事に着手した。なお、令和元年度には、庁舎等改修工事及び植栽工事を契約予定である。本庁舎跡地周辺整備事業(道路事業)は、市道5563号線に右折車線及び南側に歩道の設置が完了した。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間で1,074時間、一人あたり月平均22.4時間であり、昨年度と比べて月平均約4時間増加している。これは、29年度に行う予定であった茅ヶ崎市役所仮設庁舎活用事業が30年度へ先送りされたことに伴い、30年度の業務量が増加したためである。令和元年からは旧本庁舎跡地整備工事の比重が大きくなるため、早急に業務の割振り等の見直しを行い、時間外勤務縮減を意識して業務を行う必要がある。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
－	－	－
－	－	－

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
－	－	本庁舎跡地周辺整備事業は、平成30年度から令和2年度までの継続的な事業であり、平成30年度には、工事にかかる契約を締結及び着工しているため。
－	－	－

6 働かかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果
<p>定期的な課内会議を実施したことにより、各々が計画的に進める意識をさらに持つことができた。さらに、個別事業の情報共有が早まったことにより、効果的な選択肢が増え、効率的で生産性の高い業務体制が築かれた。</p> <p>変革期となっている業務に関して、中長期的な視点に立ち、現状の課題や本来の目的を共有することで、目的意識の統一やモチベーションアップにつながった。</p>